

## 学習院大学における教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

学習院大学は、学習院開設（1847年）以来、学校教育の指導者を輩出してきた歴史をふまえ、学習院大学開設（1949年）翌年に教職課程を設置し、以来、「精深な学術の理論と応用とを研究教授し、高潔な人格及び確乎とした識見並びに健全で豊かな思想感情」を有し、「文化の創造発展と人類の福祉に貢献する人材」（ディプロマ・ポリシー）を教育者となす教員養成を掲げ、国際的視野からの幅広い教養教育と専門教育を基盤とする教職課程を整備し、多くの有為な学校教員を輩出してきた。

学習院大学は、教職課程の事務手続きや履修指導、教員募集に関する情報提供などの教職に関する業務を一貫して行う教職課程事務室を置くとともに、初等教育教員養成を主たる目的とする文学部教育学科の新設（2013年）による教育学・教職関係スタッフの充実、全学教員による幅広い教養教育と専門性をもって、下記のように、教職科目の全学的な指導体制を整備し、教科に関する専門的な学力、教育に対する深い理解、教育者としての情熱と豊かな使命感、優れた実践的指導力を養う教員養成を行ってきた。

①全学的に教職課程の充実を図るために、副学長、教職課程認定全学科から選出された教員等により構成する教職課程運営委員会を置き、教職科目、教育実習等に関する全学指導・調整体制を整え、教職課程と所属学科が緊密に連携・協力して教職を志望する学生（院生）の指導を行っている。

②教師として生涯にわたって学び成長し続けるための理論的体系的な教職関連科目、体験的な学習をカリキュラムに取り入れ、グループ討論・発表形式・実習型など多様で活動的な学習形態、実践的指導力の基礎を育成するために模擬授業や事例研究などを取り入れ、現場教師を数多く招聘し、教育実践に基づいた教職教育を整備している。

③学校現場における実践的で幅広い見識を身につけさせることを目的として、2021年度より、新宿区教育委員会と協定を締結し、新宿区立小・中学校へ学生（院生）を派遣する教職インターンシップを実施している。（2022年度入学者から教職課程科目「学校インターンシップ」として正規の単位に位置付ける。）

④教員採用選考試験に対応し、学生（院生）の希望実績をふまえた自治体関係者を招いての説明会や私立中学・高校教員志望者向けの学内説明会を実施している。また、教員採用選考試験に不可欠の論作文、模擬授業、場面指導などに対応する「教員採用選考試験対策講座」を実施している。

⑤「教職課程ゼミ」「教職合宿」などを開催し、自主的・主体的な学習態度の育成を図るとともに、教職履修学生同士や本学卒業現職教員との交流の機会を提供している。

学習院大学の教職課程は、教職を目指す学生（院生）のため、きめ細やかな、充実した指導・学修体制を全学体制で整えている。